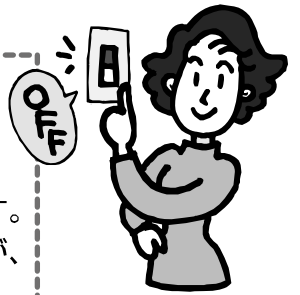


せつでんたいさく 家庭でできる節電対策



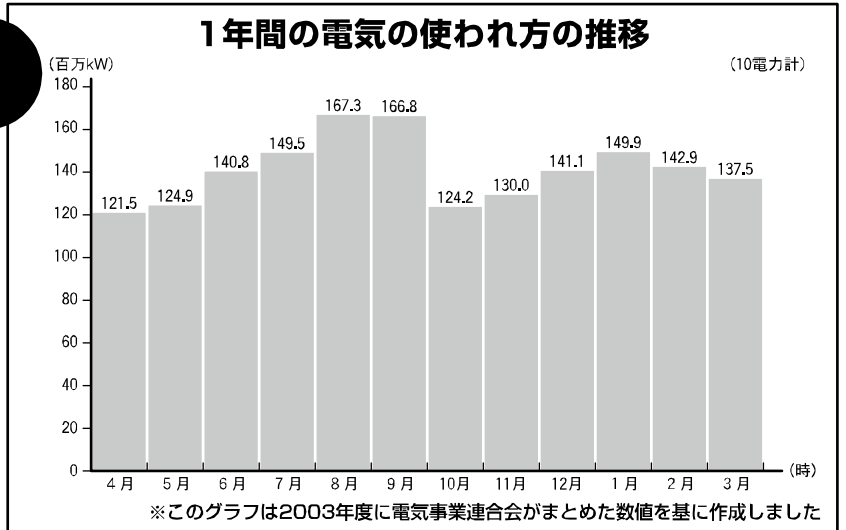
3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」により、東北・関東を中心に未曾有の災害を被りました。また、これにより発生した原子力発電所の事故で電力需給のバランスが極めて厳しい状況になっています。

今回の震災については、私たち一人一人でもすぐに支援・協力できることもあります。そのひとつが「**節電**」です。一人一人、みんなが少しずつ節電の努力をすることが、被災地の復興と電力供給の安定化につながります。

1年で最も電気が使われるのは何月？

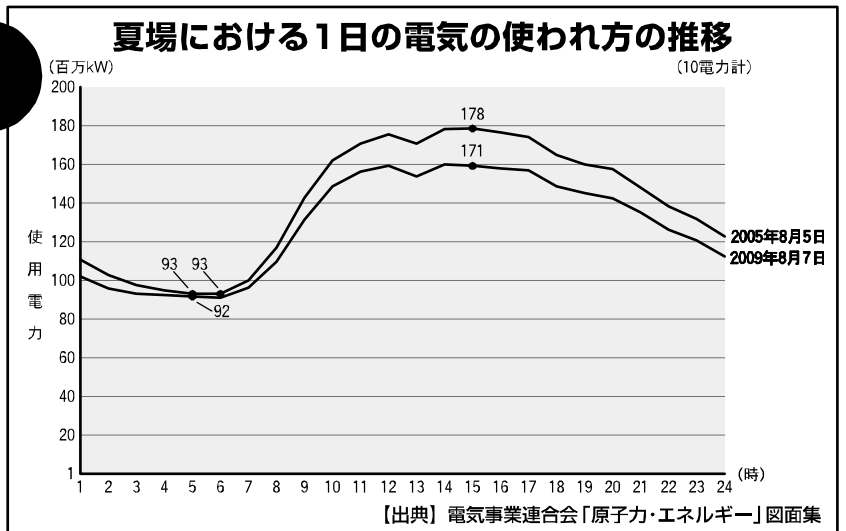
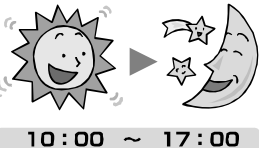
右のグラフを見てもわかるように、消費される電力のピークは“**7・8・9月**”。

これから迎える夏場に最も電力消費が高まります。



最も電気が使われる時間帯は？

夏場の電力需要が多くなる時間帯は“**午前10時～午後5時**”の間です。電気は発電所で作っても貯めておくことができません。なので、ピーク時を避けて電気を使用することも電力供給の安定を保つために重要です。



お家にある電化製品で、特に電力を消費しているものは？

家庭の中で特に電気消費量が多いのは、「**エアコン**」「**冷蔵庫**」「**照明**」「**テレビ**」の4つです。ですから、主にこれら家電製品を上手に使うことで効果的な節電対策をすることができます。

